※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	東京書籍「精選言語文化」						
副教材等	「新装版新しい古典の学習 2in1 スタイル学ぶぞ古文と漢文」（尚文出版） 「新装版新しい古典の学習 2in1 スタイル学ぶぞ古文と漢文標準演習ノート」（尚文出版） 「イラストとシーンでおぼえる Look＠古文単語 337 改訂版」（啓隆社） 「新演習古典アチーブ１三訂新判」（桐原書店） 「改訂版プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高校で学ぶ近代以降の文学的な文章（小説）、古文、漢文は、豊かな感性だけでなく、論理性をもって文章を読むことが大切です。
・限られた時間の中で知識を定着させていくために、予習復習は必須です。
・授業で使用するノートやワークシートについては板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容など、メモをとっていきましょう。
・考査だけでなく、定期的に行う小テストや、日々の授業を一回一回大切に取り組んでください。１年生では、２年生、３年生学習の基盤となる内容を一通り学びます。今後の学習のためにも、着実に習得していきましょう。
・授業や課題で指示されたことでなくとも、知らない言葉を見かけたら辞書を引き、興味のある内容について書かれた本を読むという習慣をつけてください。自ら学ぶ方法やその力をつけていきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文入門 ［教材］ 『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	a:歴史的仮名遣いについて十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで古語を学習することができている。 b[読]:主語の変わり目を正確にとらえ、児が寝たふりをした理由と僧たちの心情について根拠をもって理解できている。 c:積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、根拠立てて自分の考えを説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	随筆を読もう 『枕草子』「五月ばかりなどに山里に歩く」	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方、本文の大筋をとらえたうえで、上人の思い込みの原因を推測することができている。 c:上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から粘り強く探し出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ノート ワークシート
	随筆を読み、現代版を書いてみよう ［教材］『枕草子』「ありがたきもの」	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している b[書]:「ありがたきもの」というテーマについて、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ノート 振り返りシート
	現代の文学的文章(随筆)にふれよう ［教材］『人生初季語』	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:進んで筆者のものの見方や感じ方を	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		捉えて随筆を読み味わい、学習課題に沿って、俳句や季語に対する筆者の考え方を捉えようとしている。			
二学期	歌物語 ［教材］『伊勢物語』「芥川」「筒井筒」	a：歌物語における和歌の役割を理解している。 b[読]：登場人物の心理の推移の描写を丁寧にたどり、心情を読み取っている。 c：「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。	ノート ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	漢文入門 ［教材］「訓読の基本」「矛盾」「朝三暮四」	a：漢文に特有の語や、再読文字、受身形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 b[読]：脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 c：本文中の語句の意味を、漢和辞典を用いて調べている。	ノート ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	日記文学 ［教材］『土佐日記』「馬のはなむけ」	a：紀貫之が女性のふりをして日記を書いた理由を、歴史的背景や文学的特徴を踏まえて理解している。 b[読]：本文中に見られる古典常識についておおむね理解し、本文の読解に役立てている。 c：旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	和歌 ［教材］『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』	a：・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。	ノート 小テスト 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	近代の小説を読もう ［教材］『羅生門』	a：老婆に対する比喩表現など、特色の意味と効果を理解している。 b[書]：下人の心理と行動の変化を的確に読み取り、説明している。 c：本文中の難解な語句や表現を、国語辞典などを用いて調べている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
三学期	軍記物語を読もう ［教材］『平家物語』「木曽の最期」	a：敬語表現の種類や用法について理解している。 b[読]：登場人物の心情を話の展開に即して的確に読み取り、木曽義仲と巴の結びつき、義仲と今井四郎の結びつきとを、比較・対照しながら理解している。 c：武士の装束、武具と戦のありさまなどについて関心を持ち、調べている。	ノート ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	漢文　史話 ［教材］「臥薪嘗胆」	a：漢文に特有の語や使役形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 b[読]：脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 c：本文中の語句の意味を、漢和辞典を用いて調べている。	ノート ワークシート 定期考査	発表 ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	漢詩・論語を読もう ［教材］漢詩・論語	a：各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 b[話/聞]：漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読し、感じたことを述べ合っている。 c：押韻・対句、語句の意味などを、漢和辞典を活用して調べている。	ノート ワークシート 小テスト 定期考査	ノート 発表	ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間